ワードのアート効果を使っていろいろな画像を

No.: 143

PCクラブ 2020.08.19

図の書式設定

標準スタイル(<u>R</u>)

▶ 3-D 書式

▷ 3-D 回転◢ アート効果

アート効果

□ ▼

ほかしなし

1 ポイント

2.5 ポイント

5 ポイント 10 ポイント 25 ポイント

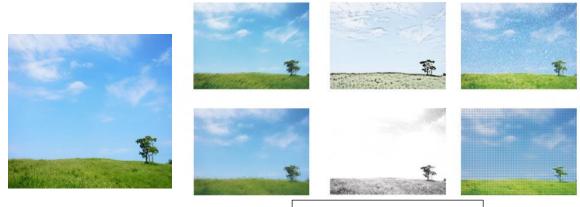
50 ポイント

▷ 影▷ 反射

▶ 光彩
■ ばかし

伊藤 嘉明

空の風景



様々のアート効果を使用

色々な画材で実際に描いたような画像になったり、質感が変わったり、 アート効果を適応するだけで、がらりと雰囲気が変わる! ワードを立ち上げ、画像を挿入。

画像をクリックし、「図ツール/書式」から「調整」タブの「アート効果」をクリック 「アート効果」の一覧から「アート効果のオプション」をクリックすると、「図の書式設定」画面が 画面に右に表示される。

図の書式設定

例:「ぼかし」をクリック、標準スタイルの一覧から任意のスタイルを選ぶ





【ぼかし:10ポイント 光彩:標準スタイルの青の一番下】



【光彩:標準スタイル の緑の一番下】

図の書式設定について



影

標準スタイル → 一覧から任意

色 → 一覧から任意

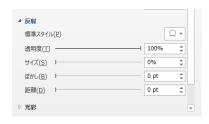
透明(過)度 → %を上げると透明度がます

サイズ → 100%以上に設定すると画像より大きくなる

ぼかし → Ptをあげると色がぼけ、ばかし部分が大きくなる

角度 → ぼかしなどの位置がかわる

距離 → Ptを上げると図がなくなるようになっていく



反射

標準スタイル → 一覧から任意

透明(過)度 → %を上げると薄くなっていく

サイズ → %を上げると反射部分が大きくなる

ぼかし → Ptを上げると反射部分がぼける

距離 → Ptを上げると反射部分が画像から離れていく



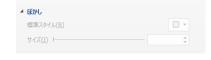
光彩

標準スタイル → 覧から任意

色 → 一覧から任意

サイズ → Pt を上げると光彩部分が広くなる

透明(過)度 → %を上げると光彩部部の色が薄くなる



ぼかし

標準スタイル → 一覧から任意

サイズ → Ptを上げると画像全体にぼかしがかかる



3-D 書式

面取り上: 幅:Pt/高さ:Pt

面取り下: 幅:Pt/高さ:Pt

奥行 → サイズ Pt

輪郭 → サイズ Pt

質感

光源 → 角度%

リセット



3-D 回転

標準スタイル → 一覧から任意

X 方向に回転 左/右

Y方向に回転 上/下

ℤ方向に回転 時計回り/反時計回り

X・Y・ℤ方向は、任意に角度をつけることができる

遠視投影

テキストを立体的に表示しない

底面からの距離 \rightarrow Pt を上げると画像が大きくなる リセット

図形の枠線の装飾



図形を挿入 → 図形を選択

「描画ツール/書式」 → 「図形の枠線」 → 一覧から「実線/点線」→

一覧から「その他の線」 → 画面右側に図形の書式設定が表示される

図形を選択 → (塗りつぶし)線(グラデーション)を選択

既定のグラデーション → 一覧から任意

種類

方向

角度

グラデーションの分岐点

色

位置

透明度

明るさ

幅

一重線/二重線

線の先端

線の結合点

